

株式会社日本計器製作所様

ソリューション概要

<プロフィール>

株式会社日本計器製作所は、昭和18年に東京都大田区に富士計器製作所として創設されました。昭和2年、株 日本計器製作所に改組後、高度情報化社会、バイオ技術の発展へと進歩をつづける社会で主要な役割をはたす情報機器、電子装置に電子部品を供給しています平成14年には技術開発研究所を増設し、「つくばテクノロジーセンター」に名称変更し、さらなる品質向上と先進技術を求めることに努めています。

<会社概要>

名称：株式会社日本計器製作所
 本社：〒146-0084東京都大田区南久が原1-13-6
 URL：<http://www.nipponkikico.jp>
 TEL：03-3750-2231
 FAX：03-3750-2271
 事業概要：アクチュエーターの開発。新素材、新構造メカニズムの研究開発。コンピュータ、オーディオ、電子機器等部品 装置供給。

株式会社日本計器製作所



株 日本計器製作所は昭和18年に東京都大田区に富士計器製作所として創設されました。

現在の従業員数はグループ会社を含めると450人。コンピュータ、オーディオ、電子機器メーカー向けに、部品 装置を供給しています。
 つくばテクノロジーセンターの馬庭さん、小玉さんにお話を伺いました。

それではまず、お仕事の内容を教えてください。

ここではパソコンメーカー向けのCPUファンの開発を行っています。エンドユーザー名はちょっと勘弁してください(笑)

わかりました(苦笑)。ではAlibre Design導入の経緯について教えてください。

はい、CPUファンの開発ですが、CPUの形状の3D CADデータがエンドメーカーからこちらに送られてきます。その上に自分で作ったCADデータを載せて、いろいろ見てみたい、と考えたのが最初です。いわば、必要に迫られてですね。

3D CADでは、エンドメーカーにもぱっと形状を見てもらうことができますし、プレゼン用途では非常にインパクトがあります。

それで3D CADの導入を検討されたわけですね。

はい、予算的な制約もありました。価格体系が20万円前後の3Dモデラー、をインターネットで探していたのですが、いくつか見つかった製品のうちのひとつがAlibre Designでした。

他製品と比べて導入の決め手となったところはどこでしょうか？

やはりパラメトリックであったことが大きいですね。他の製品はそこまでの機能はありませんでしたから。

3D CADを使用するのは初めてだと伺っていますが、実際に使用してみていかがでしたか？

意外とサラッと入っていけました。こんなものかな、という感じです。チュートリアルなどを見て理解することができましたし、現状では、モデリング、アセンブリ、2D図面に落とすところと一通りの作業を行っています。

今後は造型機に出力したり、金型の作成にも積極的に利用していきたいですね。

もう何ライセンスが追加が必要になると思います。

ありがとうございます。朗報です(笑)。本日はお忙しいところありがとうございました。

